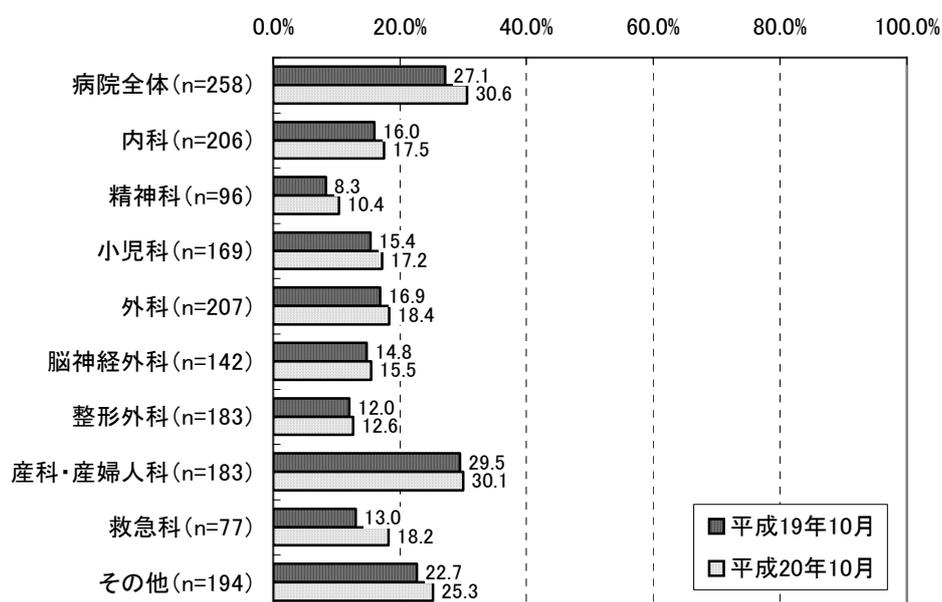


平成 20 年 10 月における診療科別連続当直実施施設の割合（常勤医師）についてみると、「病院全体」では 30.6%、「内科」では 17.5%、「精神科」では 10.4%、「小児科」では 17.2%、「外科」では 18.4%、「脳神経外科」では 15.5%、「整形外科」では 12.6%、「産科・産婦人科」では 30.1%、「救急科」では 18.2%であった。連続当直実施施設の割合が最も高いのは「産科・産婦人科」であり、次は、「外科」、「救急科」、「内科」、「小児科」であった。

平成 19 年 10 月と比較すると、すべての診療科で連続当直実施施設の割合が高くなった。特に、「救急科」では平成 19 年と比較して 5 ポイント以上高かった。

図表 34 診療科別 連続当直実施施設の割合（常勤医師）



(注) ・平成 19 年 10 月および平成 20 年 10 月とも記載のあった診療科医師の平均当直回数を対象とした。
 ・ n は施設数である。